

自社ブランド力高めることが重要

結心会

定例会で金融サービス仲介業を ディスカッション



図師氏

金融サービスの仲介業者は、金融機関への所属を求めないため、取り扱い商品・サービスが限定されるなど利用者保護の規制が課せられる点も特徴の一つだと説明し

金融庁の図師課長補佐は、金融サービス仲介法施行までの経緯および法制度の概要、特徴、金融サービス仲介業登録審査の流れについて概説。金融サービス仲介業の特徴については、業態ごとに縦割りの従来からの仲介業と異なり、一つの登録で銀行、証券、保険すべてのサービスを仲介可能とするなどワンストップ提供に最適な業態であることだと述べた。また、金融サービス仲介業者には特定の金融機関への所属を求めないため、取り扱い商品・サービスが限定されるなど利用者保護の規制が課せられる点も特徴の一つだと説明し

登録数は少ないが…
消費者ニーズに即した業態

結心会(一般社団法人保険健全化推進機構 結心会)は5月11日、東京・新宿のあいおいニッセイ同和損保新館ビルで定例会を開いた。定例会では、金融庁監督局総務課の図師課長補佐が登壇し、金融サービス仲介業について説明した。次いで、金融庁総合政策局リスク分析総括課の栗田亮金融サービス仲介業室統括課長補佐と日本金融サービス仲介業協会の中村仁会長が同業態についてディスカッションした。



(損保版)

第1〜4月曜日発行
発行所 新日本保険新聞社
大阪市西区本町1丁目5-15
(郵便番号550-0004)
電話 (06) 6225-0550 (代表)
FAX (06) 6225-0551 (専用)
購読料 1か月2200円
(消費税、送料込み)
©新日本保険新聞社 2022

シンニチ保険Web

www.shinnihon-ins.co.jp

購読者専用バックナンバー
閲覧パスワード

2022年6月6日 AMまで

※偶数月の第一月曜日正午ごとに変更



栗田氏(中央)と中村氏(右)

図師氏は「金融サービス仲介業は金融業者や非金融業者、対面や非対面を問わず、お客様の金融サービス利用時の利便向上を図ることを目的に創設したものだ」として、制度概要を理解したうえで、の新規参入を促した。続いて行われたディス

あいおいニッセイ同和損保

交通安全EBPM支援サービス

最適な対策メニュー提案

あいおいニッセイ同和損保は、テレマティクス自動車保険契約を通して蓄積した地球約138万周分(2022年3月末時点)の自動車走行データを活用し、地方公共団体の交通安全対策の立案・効果検証を支援する「交通安全EBPM支援サービス」を5月から提供を開始した。

EBPMはEvidence Based Policy Making(証拠に基づく政策立案)の略で、政府全体で推進されており、政策効果の測定に重要な関連を持つ情報や統計等のデータの活用が求められている。今後、同社では事故データの活用、新たな危険

「交通安全マップ」は、同社のテレマティクス自動車保険のデータベースから取得した走行データを活用し、急ブレーキなど危険な運転挙動の発生頻度が高い地点を最小約120mメッシュで地図上に可視化。このマップから選定した危険箇所候補の詳細分析を通じて、最適な交通安全対策メニューを提案する。加えて、対策メニューの効果検証を通じて、交通安全対策(標識設置等)に関する事業者との協業を進めていくとしている。

交通安全マップは、同社のテレマティクス自動車保険のデータベースから取得した走行データを活用し、急ブレーキなど危険な運転挙動の発生頻度が高い地点を最小約120mメッシュで地図上に可視化。このマップから選定した危険箇所候補の詳細分析を通じて、最適な交通安全対策メニューを提案する。加えて、対策メニューの効果検証を通じて、交通安全対策(標識設置等)に関する事業者との協業を進めていくとしている。

メタバースプロジェクトを始動

三井住友海上

三井住友海上は、中長期的な社会変革を視野に入れ、外部知見を積極的に活用する社内外横断的プロジェクトを展開する。プロジェクト第一弾として、仮想空間であるメタバースが浸透した未来を展望した「メタバースプロジェクト」を3月から始動し、新たなビジネスをデザインする業界初のメタバース上の拠点「G

お知らせ

次週5月30日は第
五月曜日となります
ので、本紙の発行は
ありません。

春秋

ずっと「朝ドラ」を見続けている。自分にとっての最高傑作を上げるなら、一も二もなく「おかしなモネ」だ。ドラマが始まる前は「どうして気象予報士が主人公なんだろう」と訝しい気分だった。

の再建を始め、周りに大きな希望を与えた人だ。彼は仕事を次代に譲る心情をモネに淡々と伝える。「長く続けるってことは、同じことをずっとやるんじゃないか。変えなきゃいけないものはとことと変えてよ、大事なものを」

「ゴツゴツした漁師さん」

守っていきやあいいんだよ。百年後に牡蠣つくってる奴はよお、オレみてえなゴツゴツした漁師じゃねえ、途中からひょっこり始めた奴はっかりになってるかもしれねえぞ」これに、モネが微笑みながら応える。「いや、百年後もおじいちゃん

東日本大震災の時、何人かの「ゴツゴツした漁師」のような地域のプロ代理店に出会った。おそらく彼らも新たなビジネスモデルを求めて苦闘しているだろう。その時、他の何よりも、モネが望む「ゴツゴツした漁師さん」を守り続けてほしいと感じる。モネこそは「お客さま」の化身なのではないだろうか。(知定)

キャッシュでは、中村会長と栗田統括課長補佐が金融サービス仲介業の現状を問う。栗田氏は「金融サービス仲介業は金融業者や非金融業者、対面や非対面を問わず、お客様の金融サービス利用時の利便向上を図ることを目的に創設したものだ」として、制度概要を理解したうえで、の新規参入を促した。続いて行われたディス

登録事業者数が伸び悩んでいる現状について栗田氏は「現状での登録が少ないのは事実だと思う。私はその理由として、事業者が(金融サービス仲介業を展開する)イメージをつかめていないため

DH(グローバル・デジタル・ハブ)メタの開発と、世界最大のVRイベントであるバーチャルマーケットへ出展する。取組内容は、①GDHメタの新設(業界初)、②新たな商品・サービス等の開発、③バーチャルマーケットへの出展(業界初)、④プロジェクト